

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	放課後子ども教室推進事業			事業番号	08-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	子ども部	岩田 孝	青少年課	目黒 明	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち			
		基本政策	2	子どもの成長をみんなで喜ぶまちづくり			
		施策展開の方向	2	子どもや若者の成長と自立を支えるまちをつくる			
		施策	8	次代を担う子ども・若者の育成支援の推進			
予算事業名	放課後子ども教室運営事業						
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	できる規定がある		
事業開始年度	開始年度	平成25年度	～	終了年度	-		
関連法令等	子ども・若者育成支援推進法						
国・県の計画等	放課後子どもプラン、かながわ青少年育成・支援指針			計画期間	-		
関連個別計画	伊勢原市教育振興基本計画、いせはらっ子応援プラン			計画期間	平成22年度～平成29年度 平成22年度～平成26年度		
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	子どもが犠牲となる犯罪・凶悪事件が発生するなど子どもを取り巻く社会環境が悪化し、子どもを犯罪や事件から守ることは非常に重要で、緊急性のある課題であり、特に子どもの遊び場・活動の場を安全な状態にすることが望まれる。現在、児童館や児童コミュニティクラブ以外は指導員が配置されていないため安全な遊び場が十分でない。						
目的 (何をどうしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの安全な遊び場、活動の場の確保 ・地域の子育て力の強化(地域のつながりの再構築) 児童館事業の見直し(地域住民・関係諸団体等が児童館で実施される事業に参画する。) 循環教育(学び返し)の実践 						
主な対象 (誰・何を対象に)	小学校の児童						
事業内容 (手段、手法など)	・開設済の放課後子ども教室の円滑な運営に努めるとともに、新規開設に向けて計画的に取り組めます。						
事業行程	項目	年度					
		28年度	29年度				
	新規開設	1カ所開設	1カ所開設				
	実施結果検証	検証	検証				
新規開設の検討	検討実施	検討実施					
目 標	【指標名】	【現状】	年度				
			28年度	29年度			
	設置箇所数	1カ所	3カ所	4カ所			



事業実施(Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	実施中の2カ所の円滑な運営を進めるとともに、秋季に3カ所目の新規開設を目指す。 また、新たな専門職員の雇用・配置を行う。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	新規開設	1カ所開設	
	実施結果検証	検証	
	新規開設の検討	ニーズ調査を実施	
実施した取組の内容	・伊勢原小学校区、石田小学校区で事業を継続実施し、平成28年10月に竹園小学校区に3カ所目を新規開設した。 ・次年度以降、4カ所目を開設するための検討を行った。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
	設置箇所数	1カ所	3カ所
			29年度

コスト	年度		28年度 実績				29年度 実績			
	事業費合計 (a)			5,999	千円			千円		
内訳	国県支出金 ①			1,335	千円			千円		
	地方債 ②			0	千円			千円		
	その他特財 ③			0	千円			千円		
	一般財源 (a)-①-②-③			4,664	千円		0	千円		
国県支出金の内容		放課後子ども教室推進事業費補助金 補助率: 国1/3、県1/3								
その他特財の内容	受益者負担		<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期					
	その他									
人件費	正規職員		0.44	人	3,806	千円		人	千円	
	その他の職員		0	人	0	千円		人	千円	
	人件費合計 (b)		0.44	人	3,806	千円		人	千円	
トータルコスト (a)+(b)				9,805	千円				千円	
単位当たりコスト	対象数	定義	実施している小学校児童数(3校 H28.5.1)			単位			単位	
		対象数		1,721	人					
	総事業費 / 対象数		5,697	円				円		

評価 (Check)へ

評 価 (Check)

<p>進捗状況 〔選択・記入〕</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)</p>	<p align="center">A</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>伊勢原小学校、石田小学校の継続実施に加え、竹園小学校を10月から新規に開設した。 3校合計73回の開催、延べ2,931名が参加</p>
<p>実施水準 〔選択・記入〕</p>	<p><input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業</p>	<p align="center">B</p>	<p>他都市の事業内容等</p>	<p>近隣各市と開校数は同水準。 平塚市2カ所、秦野市1カ所、厚木市4カ所</p>
<p>有効性 〔選択・記入〕</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)</p>	<p align="center">A</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>地域住民などの参画により、子どもが放課後に過ごすことのできる遊び場や活動の場を確保したことで、異年齢・異世代交流の機会や子どもの安全・安心な場が増加し、参加児童・保護者等から高評価を得た。</p>
<p>効率性 〔選択・記入〕</p>	<p><input type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)</p>	<p align="center">B</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>開設する学校が増加するなか、運営に職員の負担が大きくなることから、統括できるスタッフを育成することや運営方法の検討が必要である。</p>



取組内容の改善 (Action)

<p>所属長による今後の方向性の判断</p>	<p>方向性 〔選択〕</p>	<p><input type="radio"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="radio"/> 見直しの上継続</p>	<p>事業推進上の課題</p>	<p>放課後子ども教室の運営から見えてきた課題を元に、運営方法の検討が必要である。</p>
<p>次年度取組方針</p>		<p>放課後子ども教室の4カ所目として、平成29年秋季に成瀬小学校で開設を目指す。 運営方法(児童コミュニティクラブとの連携)や嘱託職員の雇用を検討する。</p>		
<p>所管部長による総評</p>		<p>少子化や核家族化の進行などにより家庭での教育力の低下が懸念される中、子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性かん養し、併せて子どもと地域とのつながりを深める本事業の推進は、重要であると認められる。このため、放課後子ども教室の運営を、引き続き地域主体で行っていただくとともに、他の小学校区への拡大を推進すべきと考える。</p>		